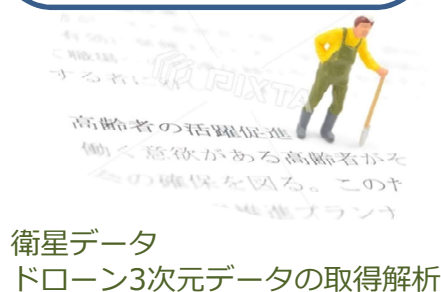


京都府地域アセット・衛星3次元データ等を活用したまちおこし研究会

相楽地域の茶業の課題

- ・高齢化
- ・重労働
- ・販促



- ・作業強度軽減
- ・若年層の茶業就業促進

相楽地域の森林資源の有効活用

- ・木質再生エネルギー活用検討



流木、インフラ管理で発生する木質有機物資源を再生エネルギーとして活用検討

- ・木質資源廃棄物の有効活用
- ・自治体のゴミ問題自立支援

中山間・都市郊外における地域アセットリーダー育成の場づくり



本件、相楽地域における取り組み自体をモデルケースとしてリーダー育成の場として活用

- ・インフラアセット維持管理低減
- ・アセット系資格の講習環境構築

相楽地域の新たな産業の模索



養蜂、目算加工物、新しい果樹の六次化模索する

- ・持続可能な地域経済サイクルの構築検討

地域にある人材・資産・自然・歴史等のアセットを原資とし、最新ICTデータを活用し持続可能な地域経済・文化のサイクルのための、情報提供支援を目的とする。

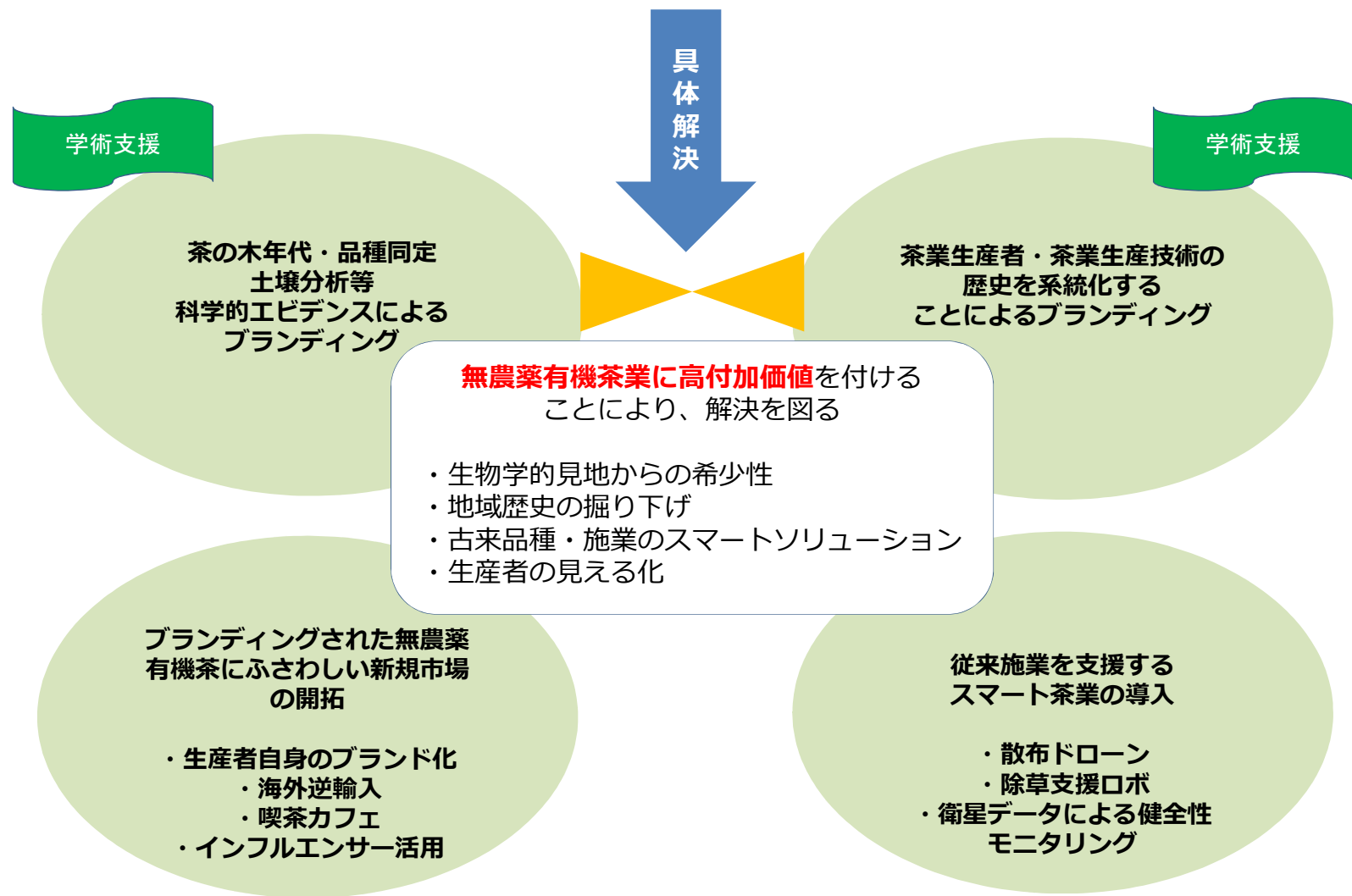
無農薬有機栽培茶業における生物学的・歴史的見地からの支援

茶業に関連した地域課題の解決に向けた提案

地域産業支援
地域興し
茶業担い手人材育成

グローバル市場に対応可能な
プロダクト算出

多様な嗜好性に対応する
品種、栽培、生産者の見える化
によるブランディング



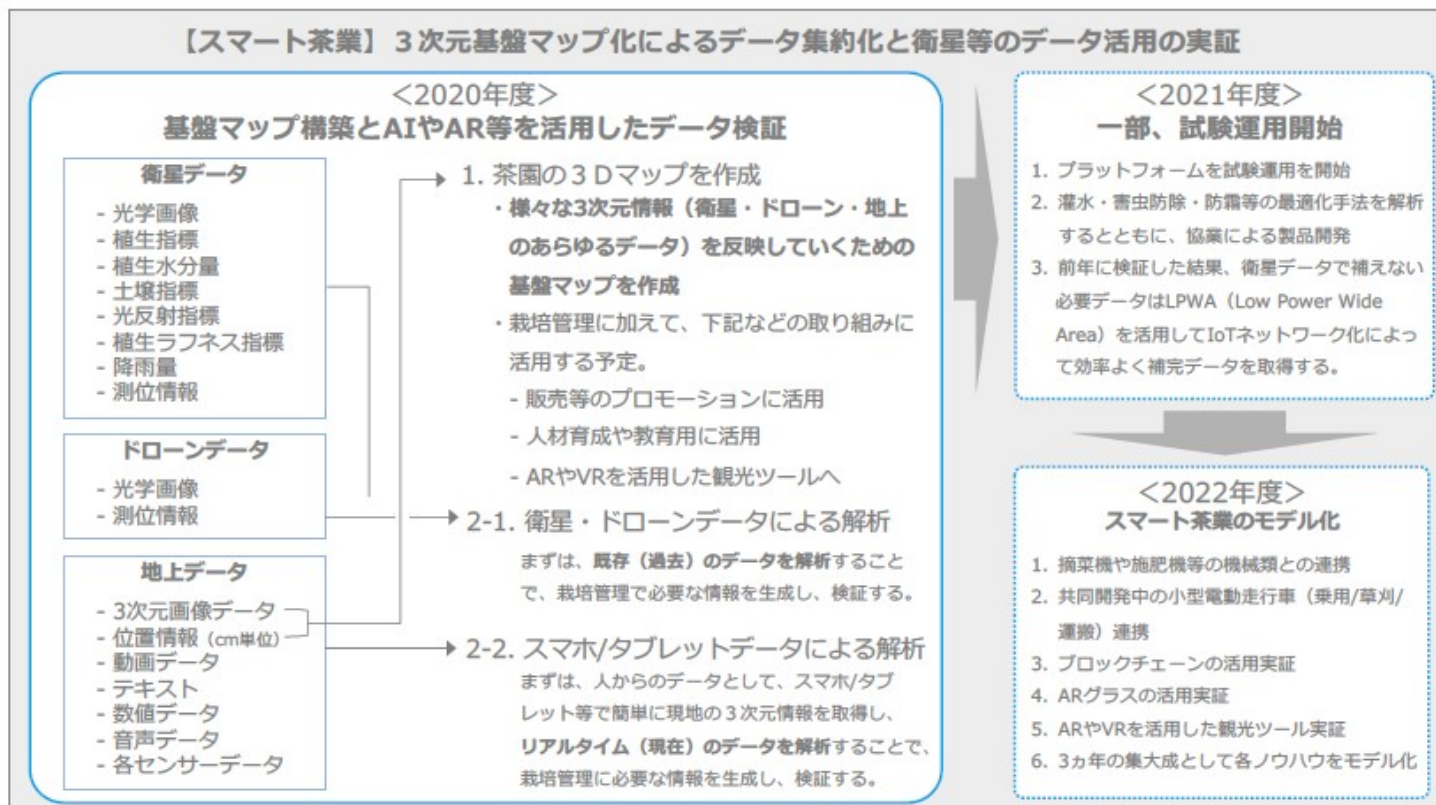
スマート茶業における衛星・3次元データ活用の先進性・独自性について

先行先進技術

- ・静岡県ではブレンド茶・PET茶の利用を目指す
→品質としては均一安定した品質を目指す
- ・静岡県で衛星データ・ドローン・AIを活用したスマート茶業による省力化実証実験に成功、集約化機械自動化を主旨とした技術実証実験であり、画像データ技術がメイン
- ・実証実験事業費 72, 235千円 (2ヶ年)

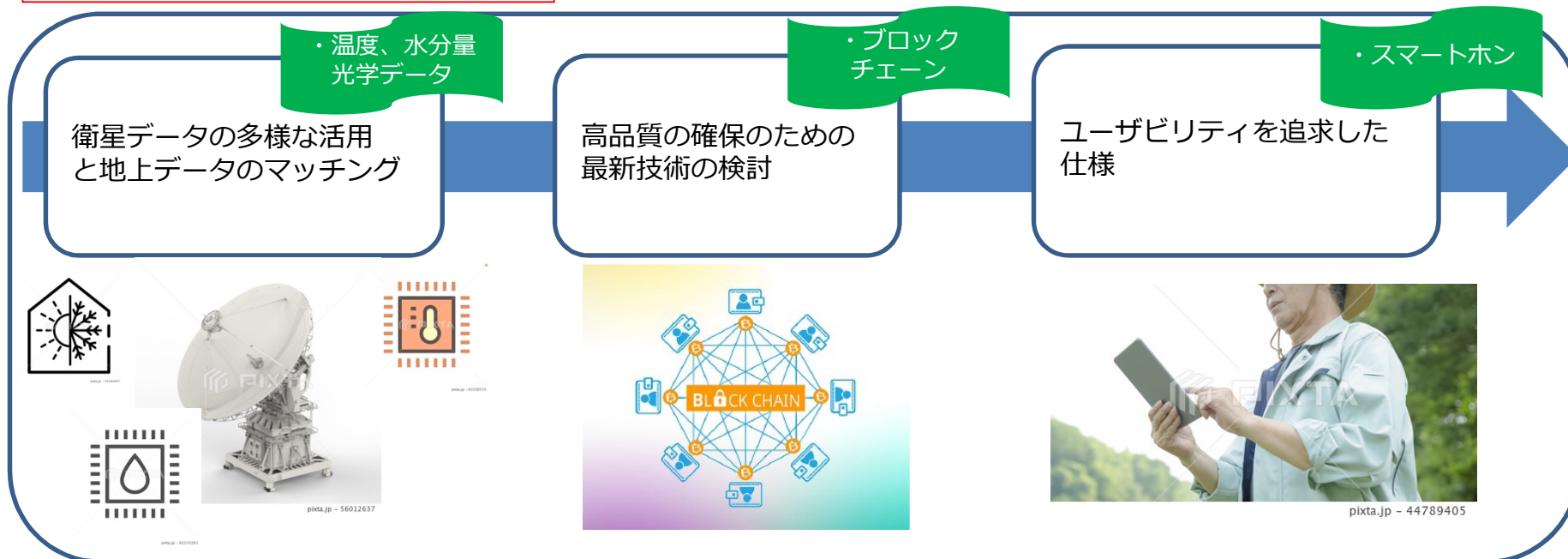
本研究会が目指すもの

- ・高品質で収益性の高い茶生産に資するデータを収集
- ・画像データのみならず、植生指標・光学指標等、茶生育に関わるパラメータの取得・有効性の検討
- ・作業管理ツールの汎用化＝スマートフォンの活用
- ・コストを極限まで抑えた無駄のないワンストップ開発
- ・金融ブロックチェーン技術の品質トレーサビリティへの活用
- ・開発費300万 (3カ年)



スマート茶業における衛星・3次元データ検討の単独随意契約

先行技術知見にない独自性



アップデート
カスタマイズを
容易に

先行技術から大幅コストダウンできる
ワンストップ技術の開発
(先行技術の1/10以下のオーダー)



**先行技術をすべて連結してカスタマイズできる
企業体は現時点で他に存在しないため、単独随意契約とする**